

海岸清掃で深める絆

2026年
6/7

商工会青年部清掃活動

白糠町商工会青年部（佐藤公也部長）が、全国商工会青年部連合会の全国統一事業「絆感謝運動」の一環として、清掃活動を行いました。

「絆感謝運動」は6月10日の「商工会の日」をめぐりに毎年実施されているもので、今年度の清掃活動には会員と商工会職員の計7人が参加、和天別の象の花海岸でごみを収集しました。



約1時間ごみを収集しました

白糠の玄関口に彩りを

2026年
6/6

しらぬか花くらぶ JR白糠駅前に植栽

しらぬか花くらぶ（廣谷スマ子会長）の会員10人がJR白糠駅前のプランター15鉢に花を植えました。

パンジーやマリーゴールドなど約100株を植栽し、JR白糠駅前を色鮮やかに彩りました。廣谷会長は「花くらぶを始めてから20年が経過し、会員も高齢化して作業が大変ですが、これからも花を植えてきれいにしていきたい」とほほえんでいました。



プランターに花を植えた「花くらぶ」の会員

積み重ねが大きな力に

2026年
6/3

白糠ライオンズクラブ 社協にプルタブを寄贈

白糠ライオンズクラブ（高橋清美会長）が、町社会福祉協議会（岸本秀彦会長）に、クラブの回収活動で集めたプルタブ20kgを寄贈しました。

岸本会長は「会員のみならず、みんなの力で集めました」と話し、岸本会長は「ライオンズクラブさんの活動が町全体に広がっている。この度の寄贈に心から感謝申し上げます」とお礼を述べました。



高橋会長（中央）からプルタブを受け取る岸本会長（右）

花がつなぐ地域の笑顔

2026年
5/31

縫別地区協議会 地域彩る花壇づくり

縫別地区協議会（石田正義会長）が「縫別自然の家」と「縫別集会所」の花壇整備を実施しました。

会員13人と町職員2人が参加し、マリーゴールドやゴニアなど4種類の花を合計255株植えました。

石田会長は「縫別を訪れる人たちの楽しみや癒しになればと思い、続けてきました。今後も地域の皆さんと協力して取り組んでいきたい」と話していました。



整備した縫別自然の家の花壇と会員

寄付ありがとうございます

2026年
6/15

山根土建(株) 寄付感謝状贈呈式

山根土建株式会社（山根浩代表取締役社長）から町に1千万円の寄付がありました。寄付は同社の創業70周年を記念して行なわれたものです。

役場で行なわれた贈呈式で山根社長から目録を受け取った棚野町長は「まちづくりへの多大なる貢献に感謝申し上げます」と述べ、山根社長に感謝状を贈呈しました。



山根社長（左）に感謝状を贈呈する棚野町長

勝利を目指して全力プレー

2026年
6/14

道東小学 バレーボール大会

第47回道東小学バレーボール大会（町バレーボール協会主催）が総合体育館で開かれ、釧路、根室、十勝、オホーツク地区から、男子・混合の部14チーム、女子の部12チームが参加しました。

大会三連覇を目指して男子・混合の部に出場した庶路ビクトリーは決勝戦で帯広JJBと対戦し、激闘の末に惜しくも敗れ、準優勝となりました。



試合に臨む庶路ビクトリーの選手（写真奥）

今後も寄付を続けたい

2026年
6/5

多田さんが 図書カードを寄付

釧路町在住の多田トモ子さんから図書カード50万円分の寄付があり、棚野町長と川島眞澄教育長が多田さん宅を訪問し感謝状を贈呈しました。

寄付していただいた図書カードは、白糠学園および庶路学園において「多田トモ子文庫」として図書を整備し、子どもたちの図書の充実のために有効活用しています。



棚野町長と多田さん（中央）と川島教育長（右）

外構や庭づくりの参考に

2026年
6/5

末広緑化造園(株) 高坂社長が本を出版

末広緑化造園株式会社の高坂英己社長が『もっと素敵に、快適に！北海道の「外構と庭」をデザインする』を出版しました。著書では高坂社長が経験から見いだした庭づくりのこつが紹介されています。

同書は公民館図書室に寄贈され、高坂社長は「白糠の子どもたちが建設業に興味を持つきっかけになれば」と話していました。



本はネット通販サイト「アマゾン」で販売されています。